

貸与奨学金 返還誓約書作成方法

返還誓約書とは

借用金額と保証関係および今後の返還方法を確認する契約書

- ・ 返還誓約書の作成は、細かいルールがあります
- ・ 返還誓約書の手続きに不備がある場合は、奨学金の振り込みは止まります
最悪の場合、既に振り込まれている奨学金の返還を求められます
- ・ 不備がないように案内をよく確認して、手続きを完了しましょう



手続きの流れ

書類の受取

大学から学生に書類を配布します。

配布の連絡は、該当学生にメールでお知らせします。

返還誓約書の作成

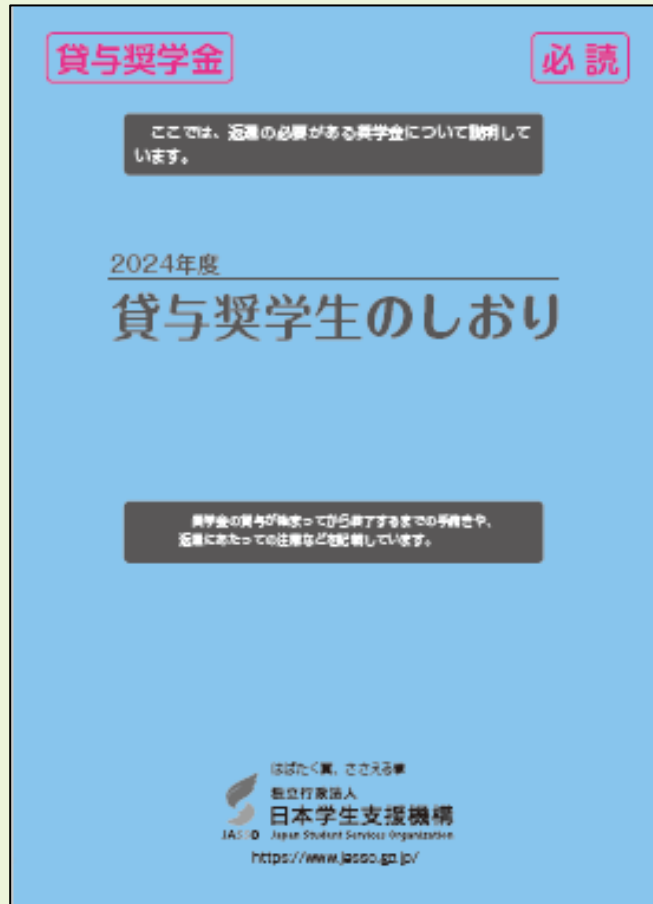
奨学生のしおり等を確認して、作成してください。

必要書類の準備取得もしてください。

返還誓約書の提出

指定された期限までに不備なく提出してください。

奨学生のしおりを読む



まずは、日本学生支援機構のホームページから『奨学生のしおり』を必ずダウンロードしてください

貸与が始まってから終了するまでの手続きや留意事項などが記載されていますので、必ずお読みください
返還誓約書の作成方法も記載があります

ダウンロード先（日本学生支援機構HP）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/siori/index.html>



返還誓約書の提出期限

大学から配布された案内に記載された期限

※不備なく提出する期限

**期限までに提出がなかった場合や不備がある場合は、奨学金の振込が「停止」になる可能性ある
最悪の場合は、奨学金の返還および「採用取消」なる**

返還誓約書作成時のルール

① 黒か青のボールペンを使用して丁寧に記入すること

※フリクションや鉛筆は使用不可



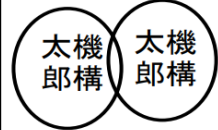





② 署名欄は、印字されている氏名の本人が各自署名すること

※他の人が代理で署名することは不可


③ 【人的保証】は、印鑑登録証明書と同じ印鑑で丁寧に押印すること



					
鮮明	薄い	重ね印	二重印	欠け印	しみ印
○	×	×	×	×	×

【機関保証】返還誓約書の作成

①青枠の印字内容が正しいかを確認
②学生本人が署名欄に署名



学生本人

どちらかに✓

【月賦返還】
毎月同じ額を返還

【併用返還】
毎月の返還額を少なくする代わりに、1月・7月に多く返還

★後から変更は不可

※「第一種奨学金」で「所得連動返還方法」を選択した方は「月賦返還」のみとなります。

返 還 誓 約 書

(個人信用情報の取扱いに関する同意書)

【第一種機関保証】

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
私は、独立行政法人日本学生支援機構貸付金を下記のとおり借用了いたします。
つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸付金返還方法の諸規定によって
承認した事項を遵守し、「奨学生のおしり」記載の取扱いにしたがい返還することを誓約し
ます。独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）に提出した個人番号について
は、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人信用
情報同意事項」を承認し、同意します。なお、私が借用了した学費貸付金は、
第一種奨学金（無利息）であり、機関保証を選択しました。

令和 XX年 4月 1日

借付金額 ￥ 2 4 4 8 0 0 0

奨学生番号 6XX-XX-XXXXXX □ 7 001 [控用種別] 予約
在学機関 日本学生支援大学
住所 〒 135 8620
東京都江東区豊洲

奨学生本人
氏名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
署名

あなた（奨学生本人）の署名

平成 XX年 11月 11日生 性別 男

返還方法の選択
※所得連動返還方式選択者は不要

返還方法
月賦返還 月賦分 毎月22日 借付期間 〇年〇月〇日 借付利率 〇.〇〇% 借付総額 2448000円
併用返還 月賦分 毎月22日 借付期間 〇年〇月〇日 借付利率 〇.〇〇% 借付総額 2448000円
併用返還 年賦分 毎年1・7月の22日 借付期間 〇年〇月〇日 借付利率 〇.〇〇% 借付総額 2448000円
併用返還 併用返還選択時の総支払額 借付期間 〇年〇月〇日 借付利率 〇.〇〇% 借付総額 2448000円

【重要】 1. 個人番号の提出がない場合、所得連動返還方式の適用を受けられません。
2. 所得連動返還方式は、所請に応じて割賦金が決定されるため、返還額は変動します。
3. 所得連動返還方式を選択しているため、毎年の割賦金はその前年のあなたの所得（あなた
ご自身の所得と扶養者の所得を合算）に応じ決定されます。上記「返還の条件（目安）」に記載の内容は
借付金額、欄記載金額から算出された割賦金であり、あなた等の所得が把握できない場合に適用されます。

【重要】 1. 個人番号の提出がない場合、所得連動返還方式の適用を受けられません。
2. 所得連動返還方式は、所請に応じて割賦金が決定されるため、返還額は変動します。
3. 所得連動返還方式を選択しているため、毎年の割賦金はその前年のあなたの所得（あなた
ご自身の所得と扶養者の所得を合算）に応じ決定されます。上記「返還の条件（目安）」に記載の内容は
借付金額、欄記載金額から算出された割賦金であり、あなた等の所得が把握できない場合に適用されます。

返還方法は、申込書等併用で選択された「月賦返還」又は「月賦・半年賦併用返還」とします。但し、右印字の返還方式が「所得連動返還方式」の場合は、
「月賦・半年賦併用返還」は選択できません。割賦金額等は下表であり、確定した金額は、貸付終了後に通知するものとします。返還回数に割賦金額の計算方法は、
「奨学生のおしり」に記載しております。
※第一種奨学金の貸付金は、第一種奨学金の貸付を受けるときの借付金額については、趣旨「返還開始時期決定事項」の3年を指してください。
※人的保証人は、市町民保証人又は保証人となる保証者による保証、機関保証による保証を受ける制度です。
※人的保証人は、奨学金の貸付を受けている途中「借付利率」にて借付利率の決定は、「借付利率」上段に印字した借付利率の適用が前提となります。
※上記以外の貸付利率は、借付利率の決定に関する情報、奨学金受取書（返還開始通知）の欄に記載いたします。
この利用目的の達成に関し、当該借付（借付金）に関する情報を含むが、学校、金融機関及び保証委託先に必要に応じて提供
しますが、その提供には利用されません。借付利率決定人については、機構が保有する個人情報のも保証委託先に必要な情報が保証機関に提供されます。
但し、有価証券及び独立法人等から奨学金の借付等の貸付の停止等のために同意書が提出された場合は、適正範囲内においてあなたの情報が提供されます。

本人以外（未成年）の場合には、親族者が返還誓約書の記載内容及び機構の取扱いを承認し、同意する。同意の欄にそれ以外署名していただく。
【提出用】

【所得連動返還方式（猶予年限特例）】※裏面（項番22）参照

本人以外の連絡先

住所 〒 163 - 8503
東京都目黒区駒場 4-5-29

電話番号 03-XXXX-3333 携帯電話番号 090-XXXX-7777
氏名 (機構 次郎) フリガナ キヨシノ ジョウ

印不要

署名

本人以外の連絡先人の署名

住所 〒 -
電話番号 * * * * * 携帯電話番号 * * * * *

氏名 * * * * * フリガナ * * * * *

署名 * * * * *

性別 * * * * *

生年月日 * * 年 * * 月 * * 日 * * * *

勤務先 * * * * *

電話番号 * * * * *

住所 〒 -
電話番号 * * * * * 携帯電話番号 * * * * *

氏名 * * * * * フリガナ * * * * *

署名 * * * * *

性別 * * * * *

生年月日 * * 年 * * 月 * * 日 * * * *

勤務先 * * * * *

電話番号 * * * * *

住所 〒 -
電話番号 * * * * * 携帯電話番号 * * * * *

氏名 * * * * * フリガナ * * * * *

署名 * * * * *

性別 * * * * *

生年月日 * * 年 * * 月 * * 日 * * * *

勤務先 * * * * *

電話番号 * * * * *

住所 〒 -
電話番号 * * * * * 携帯電話番号 * * * * *

氏名 * * * * * フリガナ * * * * *

署名 * * * * *

性別 * * * * *

生年月日 * * 年 * * 月 * * 日 * * * *

勤務先 * * * * *

電話番号 * * * * *


添付書類

・「保証依頼書（兼保証委託契約書）」・保証料支払依頼書（コピー不可）

学校番号 104900
区 分 00
学費番号 2006
左 番 号 123456

20XX/04/XX
000001(20XX/04)

①紫枠の印字内容が正しいかを確認
②本人以外の連絡先の本人が署名欄に署名



本人以外の連絡先の本人

添付書類欄に記載された書類を返還誓約書と併せて提出

【機関保証】保証依頼書の作成

学生本人が記入してください



【記入例】
貸与奨学生のしおり (p.30～) で
記入方法を確認してください

【訂正する場合】
訂正箇所をすべて二重線で消し、
訂正してください

【一種・二種の両方採用の場合】
それぞれの奨学生番号を1部ずつ
記入して提出してください

(機構・協会用)

① 保証依頼書(兼保証委託契約書)

公益財団法人
日本国際教育支援協会理事長 殿

申込日 令和 年 月 日

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の奨学金の貸与を申し込むに当たり、機構に対するインターネットによる奨学金申込み入力内容又は奨学金申込書の記載内容並びに保証書の記載内容により申込みをする奨学金の貸与（返還）について保証することを前面記載の保証委託契約に同意し、以下の【保証事項】を確認したうえで、公益財団法人日本国際教育支援協会（以下「協会」という。）に委託します。

また、本保証書の記載事項が催告の内容によるものであった場合、機関保証への加入が無効となっても異議はありません。

【保証事項】

- ・奨学金は、私本人が自分の意思と責任により申込みを行い、毎月の貸与額は、高に必要額を選択している。
- ・奨学金は責任を持って返還する必要がある（保証料を支払うことで返還が免除されることはない）。
- ・奨学金の返還が滞りな場合、返済滞り（延滞状態、返還滞り状態）がある。
- ・奨学金の返還を一定期間滞りした場合、私の代わりに協会が機構に対し返済するが（これを代位弁済という）、その後は協会に対しその分を返済しなければならない。
- ・代位弁済が行われるとその情報が個人信用情報機関に登録され、延滞情報が登録された時と比べクレジットカードや住宅ローン等の利用に、より厳しい制約を受けることがある。

学 校 名	学部・課程・学科	学科専攻・専攻科	奨学生番号
本校の種別	大学の種別	大学の種別	学 籍 番 号
フリガナ	氏 名	生 年 月 日	印 影 (貼付)
現 住 所	〒	電 話 (自宅・携帯)	年 月 日

② 保証料支払依頼書

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿
公益財団法人 日本国際教育支援協会理事長 殿

上記保証依頼書による保証委託契約に基づいて、私が公益財団法人日本国際教育支援協会からの貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構があらかじめ差し引いて支払うこととしてください。

本人 (自書)	氏 名 (必ず記入)	印 影 (貼付)
	保証人は本人	

(注) この保証依頼書及び保証料支払依頼書については、返還誓約書と同様に学校に提出してください。

本書にご記入いただいた情報及びあなたをたの奨学金に関する情報は、公益財団法人日本国際教育支援協会（以下「協会」という。）が行う保証業務及び独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）が行う奨学金貸与業務（返還業務を含む。）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む。）が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が協会に提供されます。

(学校使用欄)

~~学 校 印 影 (貼付)~~

(機構・協会用) (2024.04)

返還誓約書に印字された日付

【人的保証】返還誓約書の作成

- ①青枠の印字内容が正しいかを確認
- ②学生本人が署名欄に署名



返還誓約書
(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)

【第一種人的保証】

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
私は、独立行政法人日本学生支援機構奨学金を下記のとおり借りました。
つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学金規程その他の諸規程によって
承認した事項を遵守し、「奨学生のみしおり」記載の取扱いにしたい旨を承諾することを誓約し
ます。独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）に提出した個人番号について
は、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人信用
情報同意事項」を承認し、同意します。なお、私が借入れた奨学金は、
第一種奨学金（無利息）であり、人的保証を選択しました。貸付支持者として個人番号を提出
している連帯保証人は、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。

令和 XX 年 4 月 3 日

借入金額 ￥ 2 4 4 8 0 0 0

借入者
氏名 〇〇〇〇〇〇
住所 〒 135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

あなた（奨学生本人）の署名

平成 XX 年 11 月 11 日 〇〇 〇〇 〇〇

返還方法の選択

返還方法	返済回数	返済額	返済総額
1 月賦返還	48回	51000円	2448000円
2 併用返還	18回	6800円	6800円
3 月賦返還	30回	40800円	40800円
4 併用返還	30回	40800円	40800円

返還方法の選択

返還方法 1 月賦返還

借入者
氏名 〇〇〇〇〇〇
住所 〒 162-8431 東京都新宿区市谷本村町 1-0-7
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連帯保証人
署名 〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇
住所 〒 162-8431 東京都新宿区市谷本村町 1-0-7
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連帯保証人
署名・押印（実印）

続柄 父
昭和 XX 年 1 月 1 日生
勤務先 〇〇株式会社
電話番号 〇3-XXXX-2222

借入者
氏名 〇〇〇〇〇〇
住所 〒 153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

保証人
署名 〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇
住所 〒 153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

保証人
署名・押印（実印）

続柄 おば
昭和 XX 年 4 月 4 日生
勤務先 (有) 機構商店
電話番号 〇3-XXXX-1234

返還方法の選択

返還方法 2 併用返還

借入者
氏名 〇〇〇〇〇〇
住所 〒 104-9000 東京都中央区銀座 4-1-1
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連帯保証人
署名 〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇
住所 〒 104-9000 東京都中央区銀座 4-1-1
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連帯保証人
署名・押印（実印）

続柄 母
昭和 XX 年 1 月 1 日生
勤務先 〇〇株式会社
電話番号 〇3-XXXX-1234

返還方法の選択

返還方法 3 月賦返還

借入者
氏名 〇〇〇〇〇〇
住所 〒 104-9000 東京都中央区銀座 4-1-1
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連帯保証人
署名 〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇
住所 〒 104-9000 東京都中央区銀座 4-1-1
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連帯保証人
署名・押印（実印）

続柄 父
昭和 XX 年 1 月 1 日生
勤務先 〇〇株式会社
電話番号 〇3-XXXX-1234

返還方法の選択

返還方法 4 併用返還

借入者
氏名 〇〇〇〇〇〇
住所 〒 104-9000 東京都中央区銀座 4-1-1
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連帯保証人
署名 〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇
住所 〒 104-9000 東京都中央区銀座 4-1-1
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連帯保証人
署名・押印（実印）

続柄 母
昭和 XX 年 1 月 1 日生
勤務先 〇〇株式会社
電話番号 〇3-XXXX-1234

添付書類欄に記載された書類を返還誓約書と併せて提出

- どちらかに✓
- 【月賦返還】
毎月同じ額を返還
- 【併用返還】
毎月の返還額を少なくする代わりに、1月・7月に多く返還
- ★後から変更は不可
- ※「第一種奨学金」で「所得連動返還方法」を選択した方は「月賦返還」のみとなります。

- ①緑枠の印字内容が正しいかを確認
- ②連帯保証人本人が署名欄に署名・押印



- ①黄枠の印字内容が正しいかを確認
- ②保証人本人が署名欄に署名・押印



【人的保証】返還誓約書の作成 (保証人が4親等以外の親族や65歳以上の場合)

- ①青枠の印字内容が正しいかを確認
- ②学生本人が署名欄に署名



学生本人

返 還 誓 約 書

(第一種人的保証) (兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)

返還方法の選択

返済方法	返済回数	返済額	返済総額	滞り金	滞り利息
月賦返済	毎月22日	180	6800	6800	6800
併用返済	毎月22日	30	40800	40800	40800
併用返済	毎月1・7月の22日	30	40800	40800	40800

返還方法の選択

返済方法を選択した方は「月賦返済」のみとなります。

添付書類欄に記載された書類を返還誓約書と併せて提出

- どちらかに✓
- 【月賦返済】 毎月同じ額を返還
- 【併用返済】 毎月の返還額を少なくする代わりに、1月・7月に多く返還
- ★後から変更は不可
- ※「第一種奨学金」で「所得連動返還方法を選択した方は「月賦返済」のみとなります。

①緑枠の印字内容が正しいかを確認

②連帯保証人本人が署名欄に署名・押印

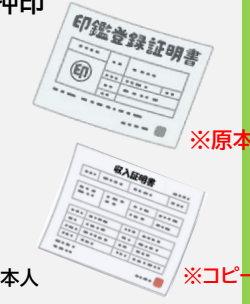
連帯保証人本人

①黄枠の印字内容が正しいかを確認

②保証人本人が署名欄に署名・押印

保証人本人

添付書類欄に記載された書類を返還誓約書と併せて提出



【人的保証】保証依頼書の作成 (保証人が4親等以外の親族や65歳以上の場合)

保証人が記入してください



【記入例】
貸与奨学生のしおり (p.42～) で
記入方法を確認してください

【訂正する場合】
訂正箇所をすべて二重線で消し、
印鑑登録証明書の印鑑を押印し
たうで、訂正してください

【一種・二種の両方採用の場合】
それぞれの奨学生番号を1部ずつ
記入して提出してください

610～610～

返還保証書

私は、1. の「奨学生本人」が借用する、2. の「奨学生番号」の独立行政法人日本学生支援機構奨学資金について、借用（返還）金額、返還開始期、割賦金等（貸与中はすべて予定）を確認のうえ、4. の「現在の資産等の状況」に記載する實力をもつて、返還予定の期間を通じて生活を維持し、「奨学生本人」が行う学費の返還（保証人は奨学生本人が返還すべき返還未済額の2分の1）を確実に保証します。

氏名 (※ 当該人物の署名(自署)押印、印は裏印)

生年月日 年 月 日生 奨学生本人との関係 (※ 親類を記入)

1 奨学生氏名	2 奨学生番号	3 奨学生生年月日
<input type="text"/>	<input type="text"/>	年 月 日生

4. 現在の資産等の状況 (※ 最近の資産等の状況が以下1～3のうちいずれか1つを証明する書類を添付し、「収入の証明書」欄に記入)

区分	金額	条件
I 給与所得者の場合	万円	年間収入金額が220万円以上 半年金は給与として扱います。 ・源泉徴収票（最近のもの） ・所得証明書（最近のもの） ・年金額到達 通知書、年金額改定通知書（支払金額のわかるもの、最近のもの）等 を給与所得と記入
II 給与所得者以外の場合	万円	年間所得金額が220万円以上 年給と所得もあるときは、給与所得金額を年間所得金額に含める ・確定申告書の控え（総務省の受付印のあるもの、最近のもの） ・所得証明書（最近のもの）等 ※ 電子申告の場合は、確定申告書に「受信結果(受信通知)」「J-1(詳細)画面」又は 「即時通知」を添付
III 預貯金・不動産などの資産を有している場合	万円	預貯金・不動産（評価額）等の合計額が貸与予定総額（返還残額） （保証人は貸与予定総額（返還残額）の2分の1）以上 【預貯金額の証明書】 ・預貯金高証明書 ・取引残高報告書（評価額のみわかるもの） ※ 証明書は返還誓約書に印字された日付（返還誓約書提出後の人物変更の場合は 記入日）の2か月以内に行われたもの 【不動産の証明書】 ・固定資産評価証明書（評価額のみわかるもの） ・「登記事項証明書（全部事項証明書）」を併せて提出が必要。ただし、固定資産評価 証明書に所有者と持分割合（共有名義の場合）が明記されている場合は提出不要。 ※ 登記事項証明書の発行日は、【預貯金額の証明書】を参照 ※ 詳細は、【資産(不動産・預貯金)の証明書に関する注意事項】を参照
IV IとIIを組み合わせる場合	万円	Iの金額+IIの金額+16% ※ (給与所得者の場合) 320万円以上 (給与所得者以外の場合) 220万円以上 ※ 金額を計算するすべての証明書類

（こちらは裏面）裏面に証明書に関する注意事項があります (24.4)

返還誓約書に印字された日付

印鑑登録証明書の印鑑を押印

「I」「II」「III」のうち
いずれか1つのみ金額を記入
右側に記載のある「収入の証
明書類」を提出してください

訂正時のルール（その1）

修正がある場合、修正テープ・修正液は使用禁止！！「なぞり書き」禁止！！

◎訂正箇所を含めて該当箇所すべてを二重線で消す

OK!

連帯保証人	住所 〒 162 - 8431	実印
電話番号 03-XXXX-0000	携帯電話番号 090-XXXX-9999	
氏名 (奨学 一郎)	フリガナ ショウガク イチロウ	
署名	奨学 一郎	
就柄 父	昭和 XX 年 1 月 1 日生	
勤務先	電話番号 03-XXXX-2222	
	(株) 奨学機構	

NG!

連帯保証人	住所 〒 162 - 8431	実印
東京都新宿区市	10-7	
電話番号 03-XXXX-0000	携帯電話番号 090-XXXX-9999	
氏名 (奨学 一郎)	フリガナ ショウガク イチロウ	
署名	一部しか二重線を引いていないので不備	
就柄 父	昭和 XX 年 1 月 1 日生	
勤務先	電話番号 03-XXXX-2222	
	(株) 奨学機構	

◎人的保証の場合は、二重線の上に重なるように印鑑登録証明書と同じ印鑑を押印する

OK!

連帯保証人	住所 〒 162 - 8431	実印
電話番号 03-XXXX-0000	携帯電話番号 090-XXXX-9999	
氏名 (奨学 一郎)	フリガナ ショウガク イチロウ	
署名		
就柄 父		
勤務先	電話番号	
	(株) 奨学機構	

二重線と重なっていれば
印鑑は1つでもOK

NG!

連帯保証人	住所 〒 162 - 8431	実印
電話番号 03-XXXX-0000	携帯電話番号 090-XXXX-9999	
氏名 (奨学 一郎)	フリガナ ショウガク イチロウ	
署名	二重線と印鑑が重なっていないので不備	
就柄	昭和 XX 年 1 月 1 日生	
勤務先	電話番号 03-XXXX-2222	
	(株) 奨学機構	

二重線と重なっているが
印鑑同士も重なっているので不備

訂正時のルール（その2）

◎正しい内容を省略せずに記入する

連帯保証人
保証人
氏名 奨学 一郎
住所 東京都江東区青海2-1-1
電話番号 03-XXXX-XXXX
携帯電話番号 090-XXXX-9999
勤務先 (株) 奨学機構
電話番号 03-XXXX-2222

連帯保証人・保証人は「印鑑登録証明書」と同じ住所を都道府県等を省略せずに記載すること

◎返還誓約書記載事項訂正届を記入し、返還誓約書と併せて提出

【様式25-1】(表裏) ※記入方法は裏面参照
返還誓約書記載事項訂正届 (成年者用)
訂正(変更) 郵便局印字用紙に記入してください。 郵便番号・住所・電話番号・郵便番号

返還誓約書記載事項訂正届は、訂正不可書き間違えた場合は、新しい用紙に記入すること

返還誓約書記載事項訂正届の作成

返還誓約書に印字された日付

本人に訂正がない場合であっても、**赤枠**は、記入必須

[様式25-1] (表面) ※記入方法は裏面参照 返還誓約書記載事項訂正届(成年者用) ※未成年者は様式25-2を使用してください。 610～、810～

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿 「返還誓約書」を提出するにあたり、「返還誓約書」上で訂正(変更)又は新規に追加した内容を届け出ます。

この用紙の提出用紙のみでは訂正(変更)・新規追加はできません。カタカナ表記で記入してください。	記入必須欄 (右注参照)	返還誓約書に印字された日付		令和	年	月	日	奨学生番号										学籍番号			
		住所 下記 ※①参照	〒					都道府県	電話番号										携帯番号		
		フリガナ	姓	名	生年月日	S	・	H	年	月	日	※奨学生本人の氏名・フリガナ・生年月日の訂正(変更)には別途手続きが必要です。学校窓口へ申し出てください。 ※返還誓約書の本人欄の訂正はなく、本人以外の他の者(連帯保証人等)のみの訂正が必要な場合は、二重枠内の「日付」「奨学生番号」「フリガナ」「氏名」のみの記入が必要です。この場合本人欄の他の項目は記入しないでください。 ※返還誓約書の本人欄については、 訂正がある場合は この欄は全項目への記入が必要です。									
		氏名	姓	名	続柄			続柄コード				訂正(変更)・新規追加がある場合は該当に○印を付けて下さい。 郵便番号・住所・電話番号・携帯番号									
この用紙の提出用紙のみでは訂正(変更)・新規追加はできません。カタカナ表記で記入してください。	連帯保証人 (人的保証)	印鑑登録 証明書に 記載の住所	〒				都道府県	電話番号										携帯番号			
		フリガナ	姓	名	生年月日	S	・	H	年	月	日	※裏面の連帯保証人の選任条件を確認の上、全てご記入ください。									
		氏名	姓	名	続柄			続柄コード				※裏面の保証人の選任条件を確認の上、全てご記入ください。									
		訂正(変更)事由	※続柄コードについては裏面参照のこと																		
この用紙の提出用紙のみでは訂正(変更)・新規追加はできません。カタカナ表記で記入してください。	保証人 (人的保証)	印鑑登録 証明書に 記載の住所	〒				都道府県	電話番号										携帯番号			
		フリガナ	姓	名	生年月日	S	・	H	年	月	日	※裏面の保証人の選任条件を確認の上、全てご記入ください。									
		氏名	姓	名	続柄			続柄コード				※裏面の保証人の選任条件を確認の上、全てご記入ください。									
		訂正(変更)事由	※続柄コードについては裏面参照のこと																		
この用紙の提出用紙のみでは訂正(変更)・新規追加はできません。カタカナ表記で記入してください。	連絡先 (機関保証)	現住所	〒				都道府県	電話番号										携帯番号			
		フリガナ	姓	名	生年月日	S	・	H	年	月	日	※奨学生本人以外でなければなりません。									
		氏名	姓	名	続柄			続柄コード				※続柄コードについては裏面参照のこと									
		訂正(変更)事由	※続柄コードについては裏面参照のこと																		

※①2020年度以降採用者は現住所(2019年度以前採用者は住民票に記載の住所)です。ただし、マイナンバー未提出者は住民票に記載の住所です。
※この届出用紙は編入学の2における返還誓約書記載事項訂正届を兼ねます。
※この届出用紙の写し(コピー)はご自身でご用意ください。学校へ提出後、日本学生支援機構からはこの届出用紙の写しを発行しません。
ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構が奨学金支給業務、奨学金貸付業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証情報に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の返還滞り防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

返還誓約書の記載事項を変更した人物の欄のみを訂正してください

書き間違えたときは、新しい用紙に書き直しが必要となる